

# 岐阜県外国人コミュニティサポーター・フォローアップ研修

ちいき せいかつ しごと  
～地域で生活し、仕事をしていくために～

参加者募集

外国人コミュニティと地域社会のあり方や地域におけるコミュニティビジネスを学びます。

◇◆◇◆◇◆◇ 多くの方の参加をお待ちしています ◇◆◆◆◆◇

日時

平成21年 10月3日(土) 13:00~17:00 (受付:12:30~)

場所

可児市多文化共生センター フレピア (可児市下恵土1185-7)

対象者

- 外国人住民で、日本語で日常会話ができる方 (ブラジル人、フィリピン人、中国人、パルー人等)
- 多文化共生に関心のある方

定員

100名程度

参加費

無料



研修は日本語で行います

講義1 13:15~14:00

『雇用危機以降の外国人コミュニティの現状と地域社会への期待』

講師: アンジェロ イシ氏 (武蔵大学准教授)

プロフィール

ブラジル・サンパウロ生まれ。サンパウロ大学ジャーナリズム学科卒。90年に日本に留学。東京大学大学院などを経て、ポルトガル語新聞の編集長を3年間務めた。日伯の移民やメディアを研究する傍ら、ジャーナリストとしても活動。日本各地で日本人やブラジル人住民を相手に、国際交流や共生をテーマに数多くの講演をこなしてきた。2004年より武蔵大学専任講師、2007年より現職。

講義2 14:00~14:45

『地域でつくる!外国人と日本人がともに働く会社』

講師: 阿部 梅子氏 (「梅ちゃんキムチ本舗」代表取締役・山形県鶴岡市)

プロフィール

韓国・ソウル生まれ。韓国で印刷会社に勤務後、山形県朝日村 (現・鶴岡市) 在住の日本人と知り合い、31歳で来日・結婚。自宅で育てた白菜で漬けたキムチが近所で評判になり、96年にキムチの製造・販売を手がける「梅ちゃんキムチ」の代表取締役として本格的に販売を開始。アジアから来た花嫁さんを積極的に雇用するキムチ工場は、日本人と外国人がともに働く場となっている。

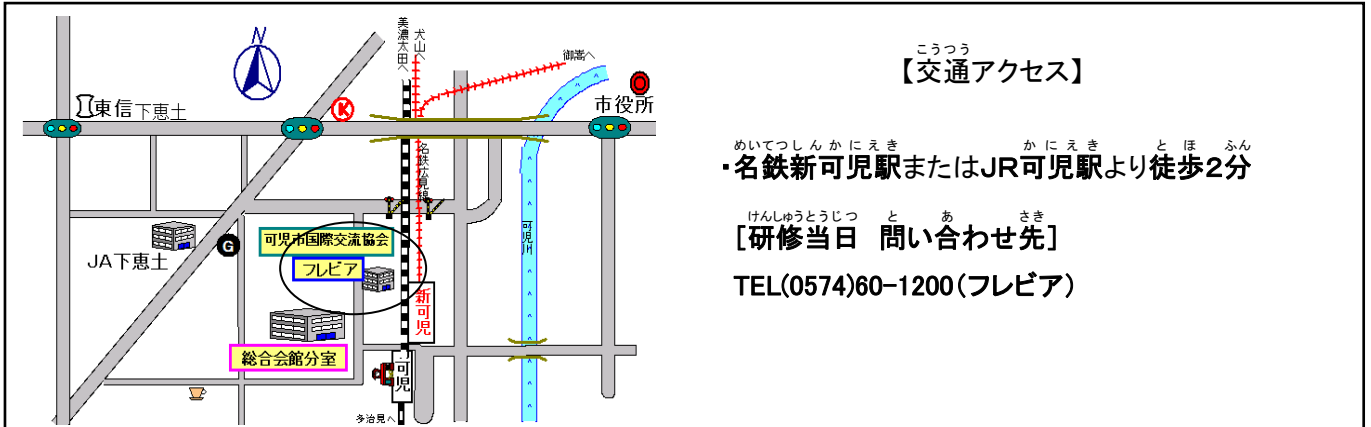
質疑とグループワーク 15:00~16:30

『外国人の自立と就労について』

進行: 田村 太郎氏 (ダイバーシティ研究所代表 / (特活)多文化共生センター大阪代表理事)

交流会 16:30~17:00

かいじょうあんないず  
□会場案内図



もうしこみほうほう もうしこみようし きにゆう うえ ゆうそう もうこ  
□申込方法: 申込用紙にご記入の上、メール、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

(メールの場合は、(財)岐阜県国際交流センターのホームページ(<http://www.gic.or.jp>)より

もうしこみようし てんぶ そうしん  
申込用紙をダウンロードし、添付ファイルにて送信ください。)

し き ひつちやく  
□締め切り: 平成21年10月1日(木)必着

【申込み・問い合わせ先】  
(財)岐阜県国際交流センター  
〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館6F  
TEL:058-277-1013 FAX:058-272-8839 E-mail:gic@gic.or.jp

岐阜県外国人コミュニティサポーター・フォローアップ研修申込書

FAX: 058-272-8839 E-mail:gic@gic.or.jp

もうしこみしゃしめい 申込者氏名			せいべつ 性別	
こくせき 国籍				
じゅうしょ 住所	〒			
でんわばんごう 電話番号			けいたいばんごう 携帯番号	
E-mail				
しょぞく 所属 (勤務先・学校名など)				
にほんごのうりよく 日本語能力レベル (資格など)				

※提供された情報は、研修の開催に必要な事務手続きにのみ使用します。